



金箔を薄く薄く伸ばす為打ちたたき際、間に挟んでいた紙からできているあぶらとり紙



佐々木さん手作りのケースやマグネットなどの他、小樽限定の人気パッケージや香り付のあぶらとり紙



知人作家のハンドメイド作品



手作りマスク
※当時販売していたもの



オリジナルの巾着やポーチ



息抜きは何かと尋ねると「ミシンを踏むことが好きなので、何かを作っている時が一番リラックスできます」という言葉が返ってきました。お店には佐々木さんのハ

■おまへへの想い

このコロナ禍で小樽も全国の観光地と同様に客足が途絶え、何とかお店を守らなければという思いから、オリジナルの布マスクを制作し販売をはじめました。すると、想像以上の反響で、全国から問い合わせや注文が殺到し、材料の仕入れに困っている時、入手困難なガーゼやゴム紐などを差し入れてくれた方や、一人で布マスクを何枚も購入してくれた方など、知人や友人が励ましてくれたと言います。人との繋がりが励みになったことに、心から感謝しているそうです。

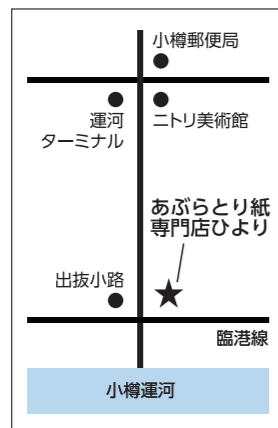
とても嬉しく、お店を続けていて良かったと感じる時と話されてきました。長くお店を営んでいます。「商品の見せ方や仕入のタイミングなど頭を悩ませることが今でも多く、経営の難しさを感じます。立地条件が良いからこそ、お店づくりをしっかりしなければと思っています」

佐々木さんは、中学生の時に部活動で小樽を訪れ、古い建物が残る街並みや海などに惹かれ小樽が大好きになり、その後も頻りに足を運んでいたこともあり、小樽という場所がお店を始める後押しをしてくれたと言います。

ひよりで販売するあぶらとり紙

代表の佐々木奈津美さんは、千歳市出身で、アパレル関係でオーダーメイドのデザインと縫製の仕事に就いていました。ある時、知人から「小樽にあぶらとり紙の専門店を出店するのでそのオーナーをやらないか」と誘いがあり、あぶらとり紙に加え、縫製スキルを生かしたお店ができると考え開業を決めたそうです。

北海道唯一の「あぶらとり紙専門店」ひより 小樽店」は、奈良に本社を置く株式会社和商事のフランチャイズ店として、平成17年にオープンしました。店内はオルゴールの音色が心地よく響き、あぶらとり紙をはじめ、小樽の作家が創作したアクセサリーやガラスアート、ポストカードなどが並びます。多くの商品が小樽をモチーフにしたもので、ここでしか買えないオリジナル商品と聞くと、思わず手に取りたくなるお土産品です。



あぶらとり紙専門店 ひより小樽店
小樽市色内1-2-1 おたる政寿司ぜん庵1F
TEL: 0134-22-1414
営業時間: 10時~17時(不定休)
Twitter ひより小樽店: @hiyori_otaru

あぶらとり紙専門店として始めたお店ですが、現在は、小樽近隣の作家の作品を取り扱うなど、セレクトショップのようになっていて、ご自身と同じ様にもづくりをする人を応援したいという佐々木さんの人柄が店内の品揃えに現れています。持ち前の行動力や何事にも前向きで気さくな人柄が皆さんに愛され続けているのだらうと感じました。

小樽の観光土産品はガラスやオルゴールのイメージが強く、開業して間もない頃、「なぜ小樽であぶらとり紙なのか」と言われることもありましたが、修学旅行などでお店を訪れた学生が数年後、家族連れで来店され、再会した時は、

浅草橋付近という立地の良さから、小樽運河を散策した観光客をはじめ、道案内やお店の紹介など観光案内所を利用するように気軽に来店するお客さんもいます。来店者は道外客が多く、海外からはシンガポール、タイ、台湾などSNSを見て来店いただく方が増えています。

観光の中心地